

群馬県立歴史博物館 では

高校生のための**歴博ワークショップ** を 開催します!!

<令和3年10月24日(日)>

「『はにわ』に触れて歴史を読み解く」

担当 当館学芸員：深澤敦仁 飯田浩光

「はにわ」は、その高い写実的造形のため、鑑賞に足る芸術品として人々を魅了します。しかし、その「はにわ」を歴史資料として見たとき、そこには当時の「社会」を読み解く様々な情報が隠されているのです。

このワークショップでは、発掘された「はにわ」を素材に、「考古学的視点」から観察・記録することで、もの言わぬ「はにわ」から、多くのいにしえ情報を読みとってみようと思います。

実物の「はにわ」に触れることのできるチャンスです。ぜひ、ご参加ください。

~~~~~ ○ ~~~~~

<令和3年10月31日(日)>

## 「古文書のカタチから戦国社会を考える」

担当 当館学芸員：森田真一 江原幸太郎

昔の人が記した古文書は、私たちに歴史を語ってくれます。ところが、その多くはミミズがのたくったような「くずし字」で書かれているため、読むこと自体難しいものです。

そこで、このワークショップでは、書かれている文字ではなく、書状の「カタチ」に着目したいと思います。古文書を実際に見たり、手に取ったりして、料紙の折り方や書かれた文字の配置など形式(フォーマット)などから古文書を考えてみたいと思います。

形式からどこまで戦国社会に迫れるものか、一緒に体験してみませんか。

時間 10:00~12:00 <両日とも>

対象 県内高校生 参加無料

定員 両日とも 12名 <両日の参加もOK>

申込 9月14日(火) から 電話申込【先着順】

電話：027-346-5522